



鉄道駅のバリアフリー化の推進

- 歳を重ねても身体が不自由になっても安全に安心して出かけることができる社会をつくるため、バリアフリー化整備への支援を拡充されたい。

【提案・要望先】 財務省、国土交通省

1. 提案・要望内容

鉄道駅のバリアフリー化の更なる促進

- 「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に「高架等の高所に設置された鉄軌道駅」を追加

2. 提案・要望の理由

- 「移動等円滑化の促進に関する基本方針」改正により、これまでの「1日当たりの平均的な利用者数が3000人以上」の駅に加えて、「1日当たりの平均的な利用者数が2000人以上3000人未満であって重点整備地区内の生活関連施設」である駅について令和7年度までに移動等円滑化を進めることとされ、対象となる駅の範囲が拡大された。
- 本県では、これまでから独自制度を活用しながら、利用者数にかかわらず、鉄道駅に対するバリアフリー化を促進しており、国においても範囲を拡大された対象駅への予算確保が必要。
- 一方で、高架等に設置された駅では、ホームへの昇降に長い階段等を使用しなければならず、更なる高齢化等に対応するためには利用者数にかかわらず、エレベーター等の設置の積極的な推進が必要。

利用者数2,000人未満のJR駅におけるバリアフリー化状況

	湖西線	北陸本線	東海道本線	草津線
2,000人未満駅数	6駅 (全て高架駅)	7駅 (高架1地上6)	3駅 (全て地上駅)	4駅 (全て地上駅)
うち未整備駅数	5駅	4駅 (高架1地上3)	3駅	0駅

(本県の取組状況と課題)

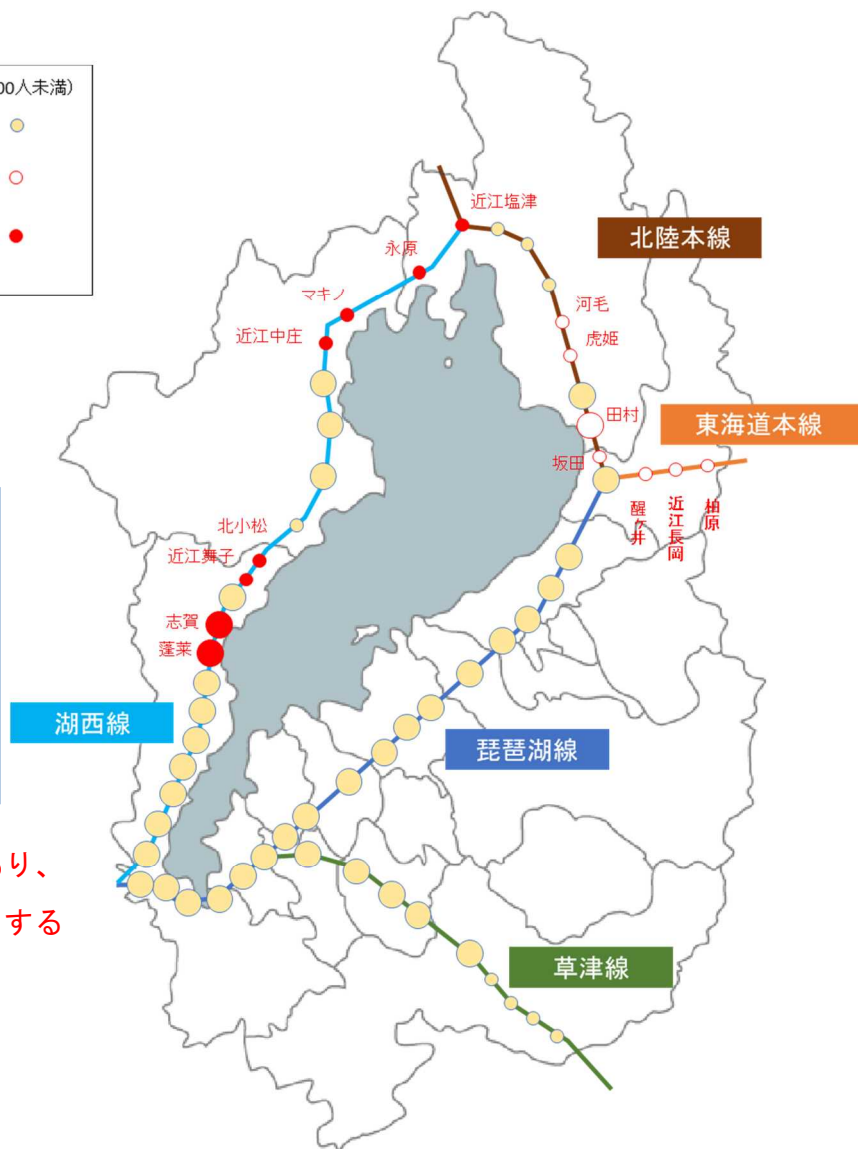
(1) 鉄道駅のバリアフリー化

- 本県では、これまでから「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき鉄軌道駅のバリアフリー化を推進。
- 県内JR駅は、利用者数 3,000 人以上では全駅が整備済みまたは整備中であり、2,000 人以上 3,000 人未満では 4 駅中 1 駅が整備済み。
- 今後、更なる高齢化の進展等に対応するため、高架等の高所に設置された駅の整備を積極的に進めることが必要。

	(2,000人以上)	(2,000人未満)
バリアフリー化整備済み	●	●
バリアフリー化未整備	○	○
未整備のうち高架駅	●	●



JR湖西線は全線が高架であり、ホームまで建物3階半に相当する長い階段を上る必要



担当：土木交通部交通戦略課
広域鉄道ネットワーク係
TEL 077-528-3684